

藤本町長 所信表明



初日には藤本町長より、この地で暮らすこと、生活をするこゝ、家族と過ごすこと、歴史、文化、芸術、自然を感じる楽しい島。災害やコロナ対策など危機対応にも取り組む安心安全のまちづくりを実現し、住環境や仕事の充実、住民の多様性を認めるようなあらゆる世代の人が住みたいくなる、住み続けたいような住みたい島。最後の「いきたい」には2つの意味があり、長生きして良かったと感じる高齢者福祉の充実であり、利用しやすい医療と福祉の提供や

活用しやすい公共交通の充実をはかる生きたい島、もう一つは、多くの人に周防大島に遊びに行きたいと思っていたきたい。交流人口と関係人口の増加を目指し、農林水産業や商工業、観光業の充実により周防大島ブランドを手にする行きたい島。

「たのしい島、すみたい島、いきたい島」を町づくりのビジョンとして、これらの実現に向け、しっかりと取り組んでいくとの所信表明がありました。

次に、①行政改革等について、②米軍岩国基地関連についての行政報告があり、その後に提出議案の説明を受け質疑が行われました。その概要については、4ページの表のとおりです。

また、各特別委員会委員を選出しました。(6ページ)

21日の一般質問には6名の議員が登壇し、

○新田健介 議員(8ページ)

コロナ禍における避難所開設に關しての進捗状況／出張所(棕野)の閉鎖／ゴミステーション／廃校の利活用

○田中豊文 議員(9ページ)

役場の組織改革と人づくり／病院再編計画の実行と労働環境

○山根耕治 議員(10ページ)

生活にかかわるインフラストラ

クチャーや施設のあり方についての住民からの意見収集とその反映

○白鳥法子 議員(11ページ)

出産・子育て支援／公共交通の充実

○竹田茂伸 議員(12ページ)

公立病院経営の在り方／地方公共団体行政事務の民間活力の導入

○吉村 忍 議員(13ページ)

イノシシ対策／地域公共交通／不法投棄対策

について、多くの議論が交わされました。

最終日の23日には、初日に質疑を行った、一般会計をはじめとする補正予算、条例の一部改正について討論採決が行われました。また、ひとり親世帯臨時特別交付金事業に対する一般会計補正予算第10号について、質疑・討論・採決が行われ、本定例会に上程された全ての議案は原案のとおり可決のうえ閉会となりました。

新しい監査委員の紹介

代表監査委員(識見を有する者)

大原秀三氏(新任)



第4回定例会において選任の同意を得て12月19日から4年間の任

期の監査委員に就任いたしました。令和2年4月1日から施行の地方自治法の改正に伴い監査委員監査についても考慮すべき事項が多々あります。地方自治法改正の目的を十分に理解し、効率的な監査等を実施して行きたいと考えています。まずは現状把握を職員の皆様の御理解、御協力を得て早急に行い、町民の皆様の福祉の増進に少しでも貢献したいと考えています。

監査委員(議会選出)

新田健介氏(新任)



その責務の重大さ、そして責任の重さに、改めて身の引き締まる

思いでいっぱいです。甚だ微力ではございますが、諸先輩方のこれまでのご功績をしつかりと引き継ぎ、私自身もしつかりと努力してまいります。